

第3章 小学生の子どもがいる世帯

小学生の子どもがいる 2,595 世帯の小学生の子ども 3,374 人の状況について述べる。

1 学童クラブ

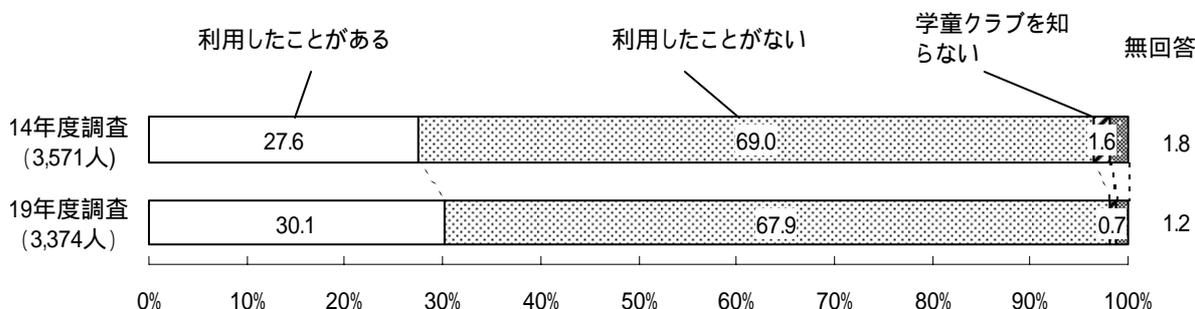
(1) 学童クラブの利用状況 - 前回調査との比較

学童クラブを「利用したことがある」割合は前回調査よりも増加し3割となった。

小学生の子どもが学童クラブの利用状況を聞いたところ「利用したことがある」が30.1%と3割以上の子どもが学童クラブを利用したことがあると回答した。(図 -3-1)

問 お子さんは、学童クラブを利用したことがありますか。

図 -3-1 学童クラブの利用状況

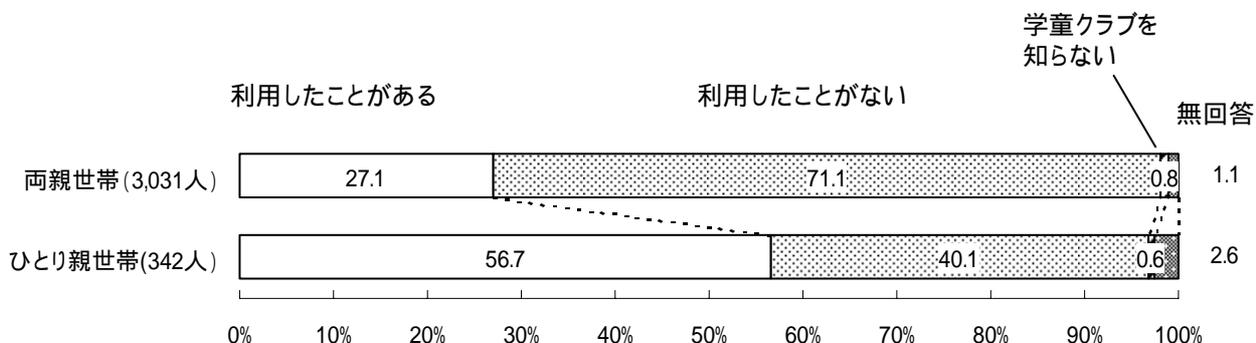


(注) 学童クラブは、昭和 38 年の東京都の事業開始以来、数を増やし、平成 19 年は 1,453 か所となっている。(61p 「参考 学童クラブの推移」を参照)

(2) 学童クラブの利用状況 - 両親の有無別

小学生の子どもが学童クラブの利用状況を両親の有無別に聞いたところ、ひとり親世帯では、「利用したことがある」の割合は56.7%と5割を超えている。(図 -3-2)

図 -3-2 学童クラブの利用状況 - 両親の有無別



(3) 学童クラブの利用状況 - 母親の従業上の地位別

学童クラブの利用状況を母の従業上の地位別にみると、「利用したことがある」の割合は、正規の職員・従業員では72.6%であったが、パート・アルバイトでは36.0%と、正規の職員・従業員の半数にとどまっている。(表 -3-1)

表 -3-1 学童クラブの利用状況 - 母親の従業上の地位別

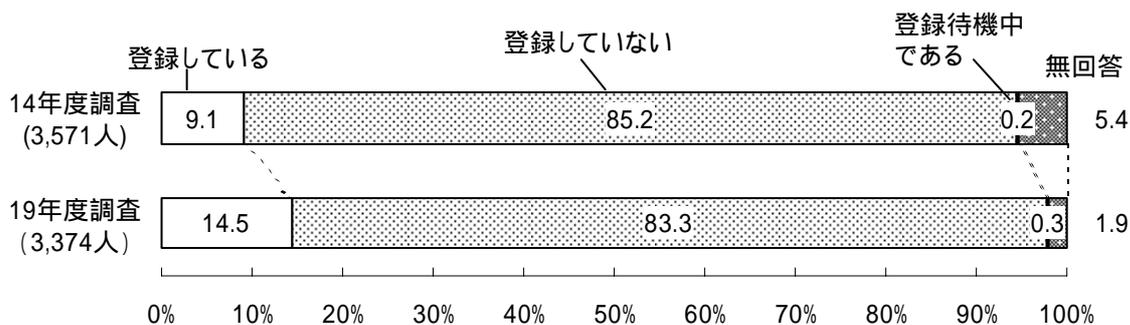
	総数	と利用 があした こ	と利 が用 なした こ	を学 知童 らク らな いブ	無 回 答
総数	100.0 (3,340)	30.0	68.2	0.7	1.1
就業	100.0 (1,870)	46.0	52.6	0.4	1.0
自営業	100.0 (208)	39.9	57.2	1.9	1.0
正規の職員・従業員	100.0 (442)	72.6	26.0	0.2	1.1
会社・団体等の役員	100.0 (29)	48.3	51.7	-	-
パート・アルバイト	100.0 (1,031)	36.0	62.9	0.3	0.9
労働者派遣事業所の派遣社員	100.0 (71)	59.2	40.8	-	-
契約職員・嘱託	100.0 (50)	40.0	58.0	-	2.0
非就業	100.0 (1,433)	8.8	88.7	1.1	1.4

(4) 学童クラブの登録状況 - 前回調査との比較

学童クラブの登録状況を聞いたところ、「登録している」子どもは14.5%で、前回調査よりも5.4ポイント増加した。(図 -3-3)

問 お子さんは、現在、学童クラブに登録していますか。

図 -3-3 学童クラブの利用状況 - 前回調査との比較

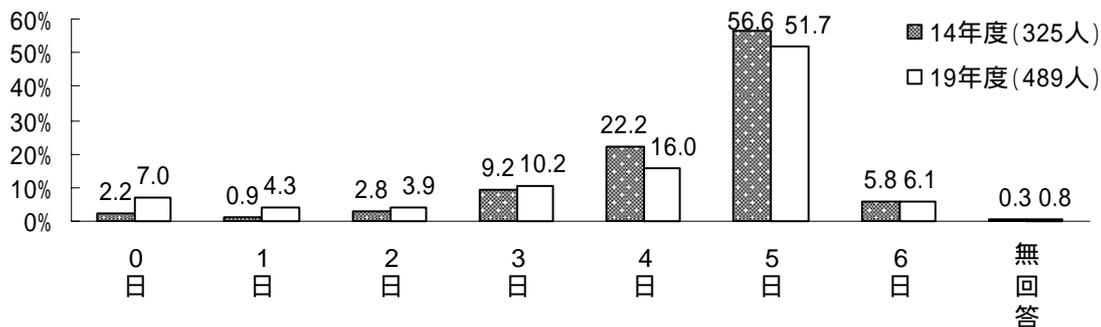


(5) 学童クラブの出席日数 - 前回調査との比較

学童クラブの出席日数について聞いたところ、「5日」と答えた割合が最も高く 51.7%であった。(図 -3-4)

問 先週1週間のうち、学童クラブには何日出席しましたか。

図 -3-4 学童クラブの出席日数 - 前回調査(14年度調査)との比較



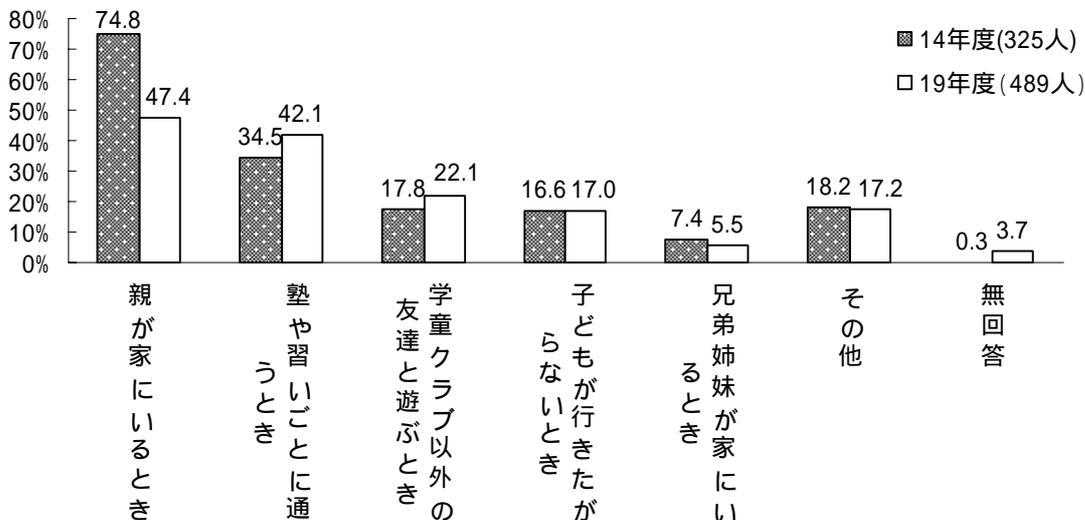
(6) 学童クラブを欠席する理由〔複数回答〕 - 前回調査との比較

学童クラブを欠席する理由は「塾や習いごとに通うとき」の割合が上昇

学童クラブを欠席する理由について聞いたところ、「親がいるとき」の割合が最も高く 47.4%、次いで「塾や習いごとに通うとき」の割合が 42.1%であった。「塾や習いごとに通うとき」の割合は前回調査よりも 7.6ポイント上昇した。(図 -3-5)

問 学童クラブを欠席するときはどのようなときですか。

図 -3-5 学童クラブを欠席する理由〔複数回答〕 - 前回調査との比較



(7) 学童クラブを欠席する理由〔複数回答〕 - 子どもの学年別

学童クラブを欠席する理由を子どもの学年別にみると、「塾や習いごとに通うとき」の割合は3、4年生で5割を超えている。(表 -3-2)

表 -3-2 学童クラブを欠席する理由〔複数回答〕 - 子どもの学年別

	総 数	と塾 にや 通習 うい とご	と以 遊外 ぶの 友ク 達ラ きブ	とが親 き家、 に祖 い父 る母	き家兄 に弟 い姉 る妹 とが	いき子 とたど きがも らが な行	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (489)	42.1	22.1	47.4	5.5	17.0	17.2	3.7
1年生	100.0 (147)	32.7	8.2	56.5	5.4	12.9	17.0	2.7
2年生	100.0 (178)	40.4	25.3	52.8	6.2	16.3	19.7	1.1
3年生	100.0 (106)	<u>53.8</u>	29.2	39.6	6.6	18.9	14.2	3.8
4年生	100.0 (24)	<u>58.3</u>	33.3	29.2	4.2	25.0	20.8	-
5年生	100.0 (20)	45.0	45.0	10.0	-	30.0	10.0	25.0
6年生	100.0 (13)	46.2	23.1	30.8	-	23.1	7.7	23.1

(注) 学童クラブ対象学年が6年生までの区市町村は、19年度末現在で6区市町村ある。(千代田区、墨田区、品川区、渋谷区、江戸川区、三宅村)

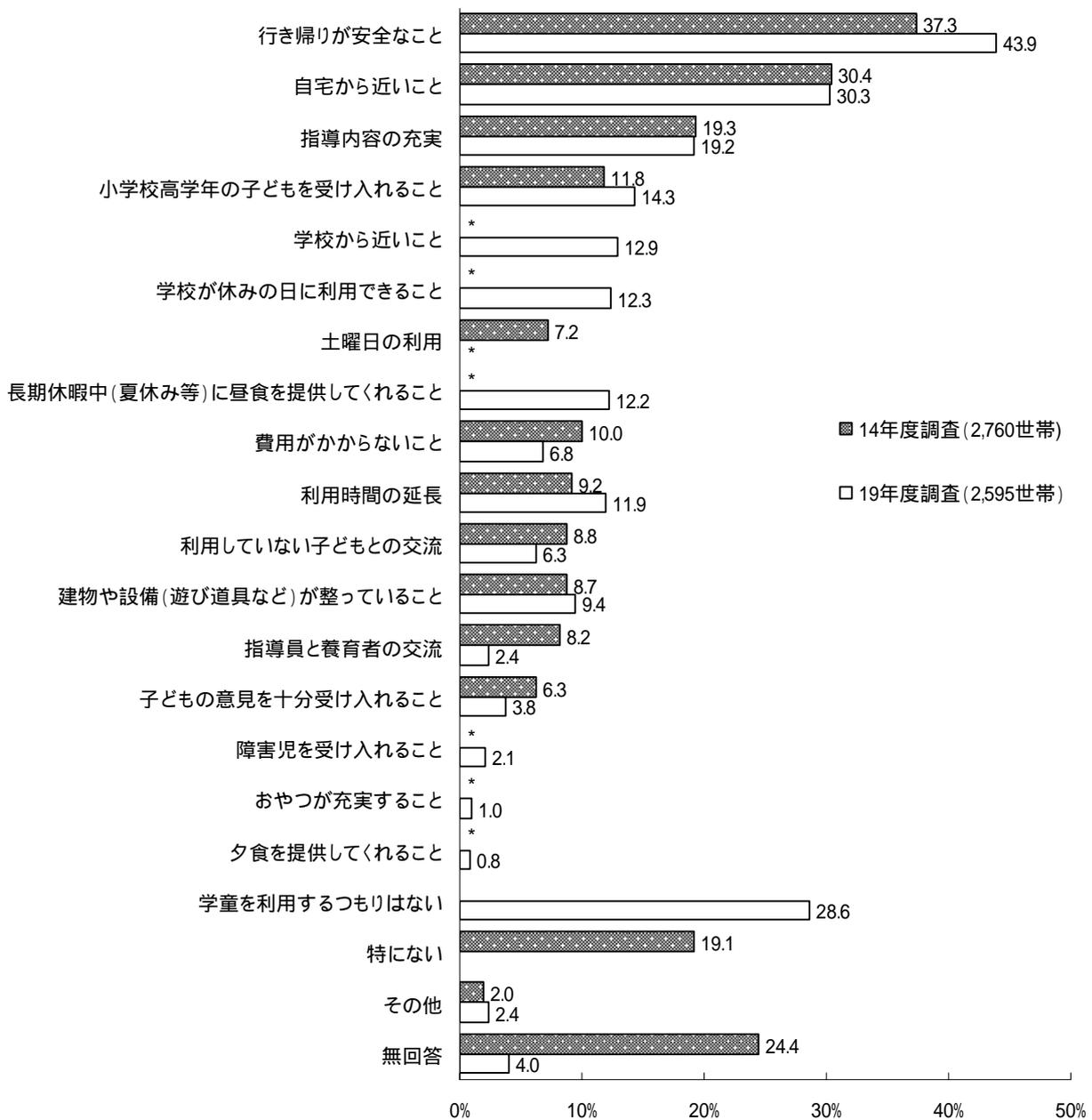
(8) 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕 - 前回調査との比較

学校クラブを利用するにあたって望むことは「行き帰りが安全なこと」が4割以上

学童クラブを利用して、又は今後利用する場合に望むことを聞いたところ、「行き帰りが安全なこと」の割合が43.9%と最も高く、前回調査に比べて6.6ポイント上昇した。(図-3-6)

問 学童クラブを利用して、又は今後利用する場合に、望むことは何ですか。

図 -3-6 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕 - 前回調査との比較



(注) * は14年度調査時及び19年度調査で選択肢を設けなかったもの。

(9) 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕 - 両親の有無別

学童クラブを利用するにあたって望むことについて両親の有無別にみると、ひとり親世帯では、「小学校高学年の子どもを受け入れること」(21.1%)、「学校が休みの日に利用できること」(17.5%)、「利用時間が延長されること」(17.1%)、「長期休暇中(夏休み等)に昼食を提供してくれること」(16.8%)の割合が、両親世帯よりも高い。(表 -3-3)

表 -3-3 学童クラブを利用するにあたって望むこと〔複数回答〕 - 両親の有無別

	総数	自宅から近いこと	行き帰りが安全であること	利用時間が延長されること	建物や設備(遊び道具など)が整っていること	指導内容が充実すること	指導員と養育者の交流があること	小学校高学年の子どもを受け入れること	障害児を受け入れること	学校が休みの日に利用できること	夕食を提供してくれること	長期休暇中(夏休み等)に昼食を提供してくれること	学童クラブを利用していない子どもとの交流ができること	子どもの意見を十分受け入れること	費用がかからないこと	おやつが充実すること	学校から近いこと	学童を利用するつもりはない	その他	無回答
総数	100.0 (2,595)	30.3	43.9	11.9	9.4	19.2	2.4	14.3	2.1	12.3	0.8	12.2	6.3	3.8	6.8	1.0	12.9	28.6	2.4	4.0
両親世帯	100.0 (2,315)	30.8	43.8	<u>11.2</u>	9.3	19.4	2.4	<u>13.5</u>	2.2	<u>11.7</u>	0.7	<u>11.7</u>	6.4	3.8	6.5	1.0	13.0	29.6	2.5	3.7
ひとり親世帯	100.0 (280)	25.7	44.3	<u>17.1</u>	10.4	17.5	2.9	<u>21.1</u>	1.4	<u>17.5</u>	1.4	<u>16.8</u>	5.4	3.2	9.6	1.4	12.5	20.0	1.8	6.8

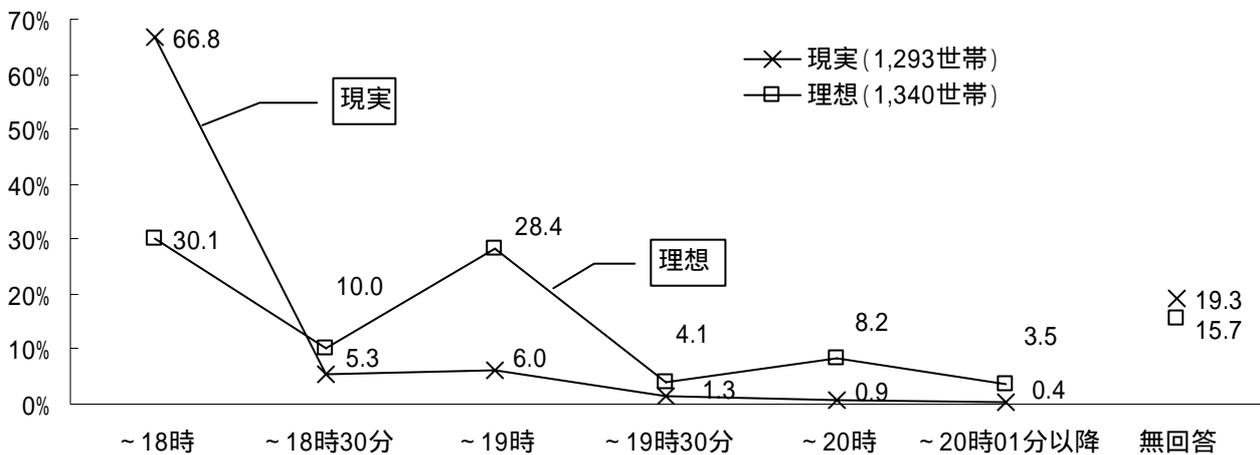
(10) 学童クラブの終了時間 - 理想と現実

学童クラブの理想の終了時間は、「18時超～19時」の割合が高く約4割

現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブが何時まで開いているか聞いたところ、「～18時」が66.8%であったが、何時まで開いてほしいか聞いたところ「～18時」の割合が30.1%で最も高かった。次いで、「～19時」が28.4%で、「～18時30分と含めた「18時超～19時」まで開いてほしいと答えた割合は38.4%と約4割を占めた。(図 -3-7)

問 現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブは何時まで開いていますか。また、学童クラブは何時まで開いてほしいと思いますか。

図 -3-7 学童クラブの終了時間 - 理想と現実



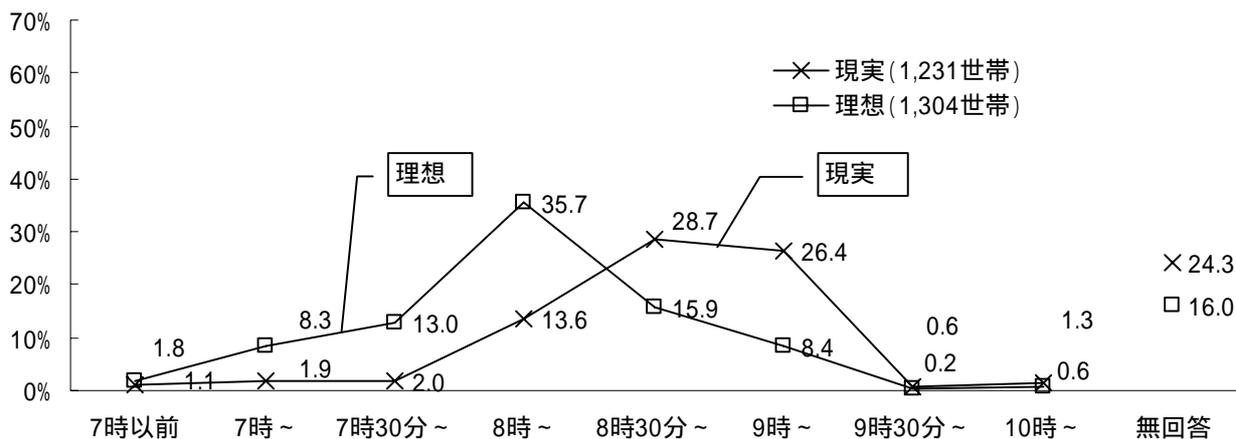
(注) 東京都では、学童クラブ事業を実施する区市町村等に、平日1日6時間を超え、かつ18時を超えて開設する場合、時間延長加算の補助を行なっている。

(11) 長期休暇時の学童クラブの開始時間 - 理想と現実

夏休みなどの長期休暇時に、現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブが何時から開いているか聞いたところ、「8時30分～」の割合が28.7%と最も高かった。また、何時から開いてほしいか聞いたところ、「8時～」の割合が35.7%と最も高かった。(図 -3-8)

問 現在利用している学童クラブ、又は今後利用しようと思っている学童クラブは何時まで開いていますか。また、学童クラブは何時まで開いてほしいと思いますか。

図 -3-8 長期休暇時の学童クラブの開始時間 - 理想と現実



(注) 東京都では、学童クラブ事業を実施する区市町村等に長期休暇等に1日8時間を超えて開設している場合、時間延長加算の補助を行なっている。

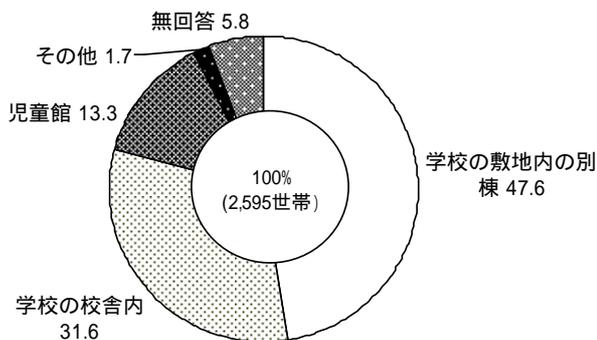
(12) 学童クラブの希望設置場所

学童クラブの設置場所は「学校内」が望ましいと思う世帯が約8割

学童クラブはどこに設置されているのが望ましいか聞いたところ、「学校の敷地内の別棟」が47.6%と半数近くであり、「学校の校舎内」と合わせると、学校内と答えた世帯が79.2%と約8割となっている。(図 -3-9)

問 学童クラブはどこに設置されているのが望ましいと思いますか。

図 -3-9 学童クラブの希望設置場所



(13) 学童クラブの希望設置場所 - 地域別

学童クラブの希望設置場所を地域別にみると、「学校の敷地内の別棟」の割合は、市・町・村部計が 56.2%で、区部計の 43.2%よりも 13 ポイント高い。「学校の校舎内」の割合は、区部計が 33.6%で、市・町・村部計の 27.7%よりも 5.9 ポイント高くなっている。(表 -3-4)

表 -3-4 学童クラブの希望設置場所 - 地域別

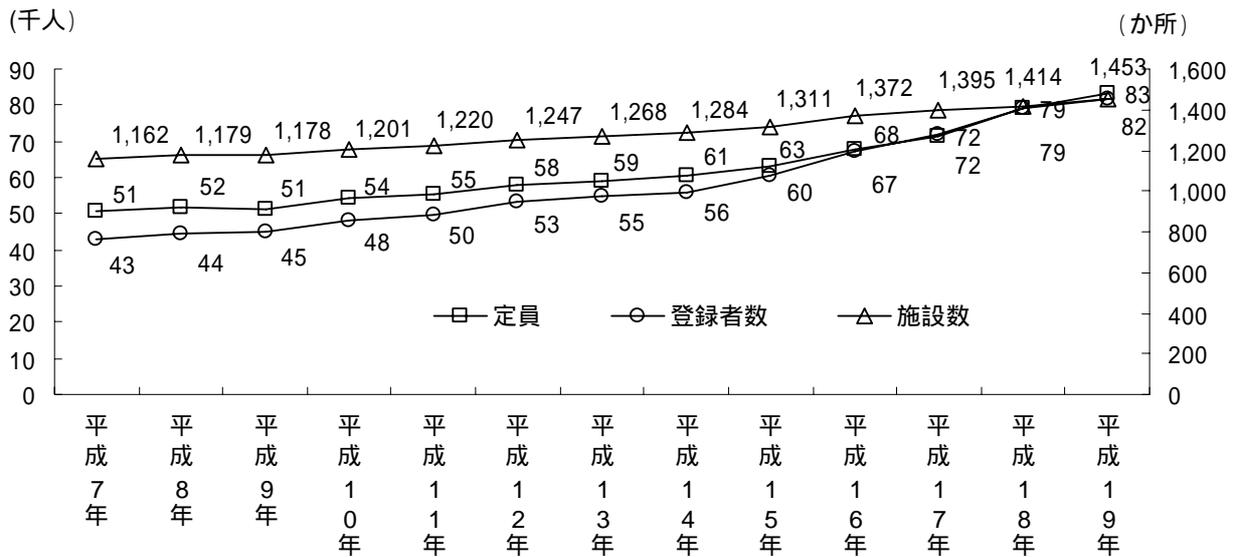
	総 数	校学 舎校 内の	の敷学 別地校 棟内の	児 童 館	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,595)	31.6	47.6	13.3	1.7	5.8
区部 計	100.0 (1,719)	<u>33.6</u>	<u>43.2</u>	15.6	1.6	5.9
区中央部	100.0 (131)	29.8	39.7	22.9	1.5	6.1
区南部	100.0 (196)	36.2	36.7	19.9	0.5	6.6
区西南部	100.0 (270)	40.4	42.2	10.7	1.9	4.8
区西部	100.0 (229)	23.1	40.6	27.9	1.7	6.6
区西北部	100.0 (407)	34.6	51.1	9.8	1.2	3.2
区東北部	100.0 (250)	27.2	47.6	14.4	2.4	8.4
区東部	100.0 (236)	41.1	36.0	13.1	1.7	8.1
市・町・村部計	100.0 (876)	<u>27.7</u>	<u>56.2</u>	8.7	1.9	5.5
西多摩	100.0 (98)	32.7	43.9	12.2	1.0	10.2
南多摩	100.0 (273)	30.4	54.2	7.3	1.8	6.2
北多摩西部	100.0 (134)	35.8	52.2	7.5	1.5	3.0
北多摩南部	100.0 (236)	19.1	63.1	10.6	2.5	4.7
北多摩北部	100.0 (135)	25.9	60.7	6.7	2.2	4.4

参考「学童クラブの推移」

放課後帰宅しても、保護者の労働又は疾病等の理由により、適切な監護を受けられないもの及びその地域において遊び場等の環境を得られないものを一定期間組織的に指導し、危険防止と健全育成を図る目的で、学童クラブが設置されている。

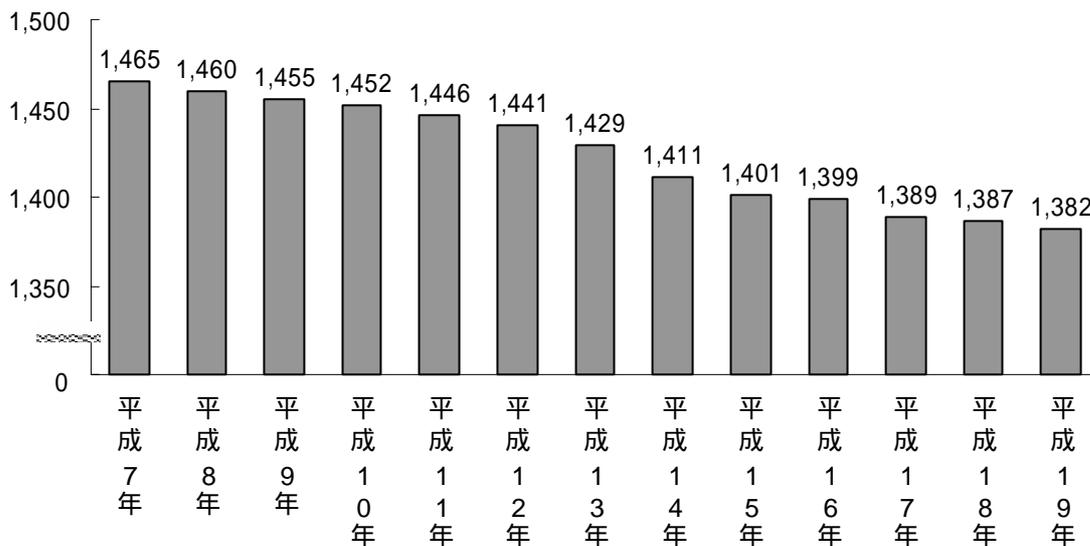
昭和 38 年に東京都の事業開始以来、着実に学童クラブ数を増やし、平成 19 年は 1,453 か所となっている。(図 参考 5)なお、小学校の数は少子化に伴い、ここ 10 年間は減少し続けている。(図 参考 6)

図 参考 5 都内の学童クラブ（定員・登録者数・施設数）の推移



資料：福祉保健局

図 参考 6 都内の小学校数の推移



資料：学校基本調査（総務局）

2 子どもの世話ができなかったときの対応

(1) 子どもの世話ができなかったときの対応（帰宅が遅くなった）〔複数回答〕

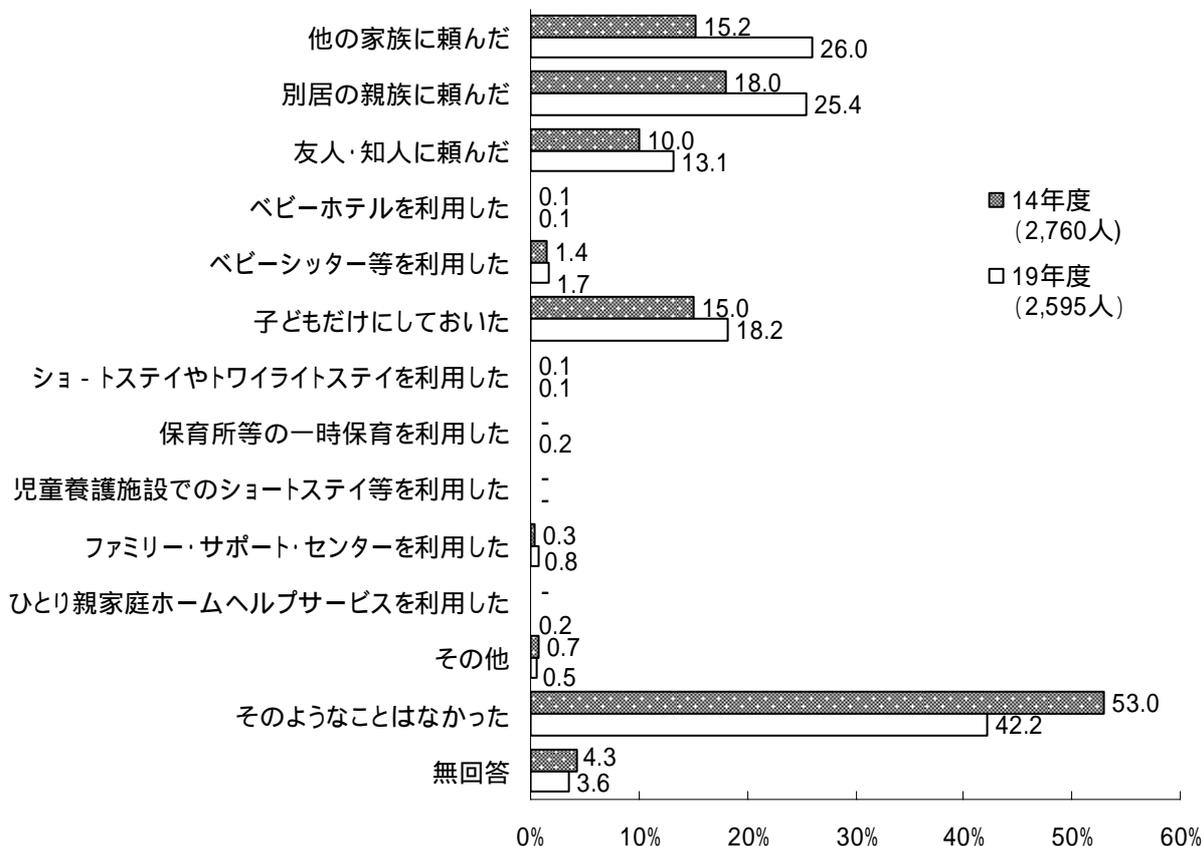
- 前回調査との比較

過去1年間に、通常、子どもの世話をしている方に、親の帰宅が遅くなり、夜間子どもだけになったときの対応を聞いたところ、「他の家族に頼んだ」の割合が26.0%と最も高く、次いで「別居の親族」の25.4%となっている。

また、「そのようなことはなかった」も42.2%であったが、前回調査と比べると10ポイント以上減少している。(図 -3-10)

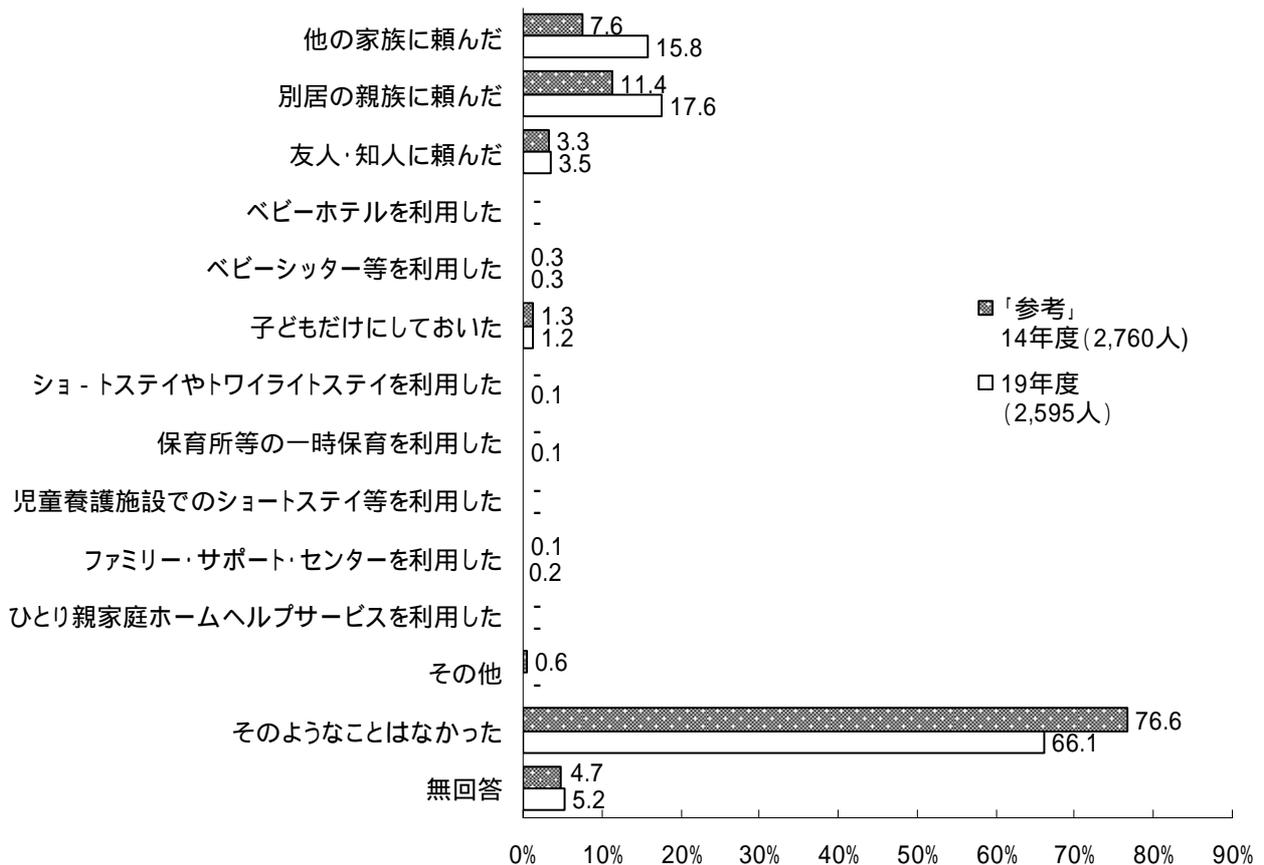
問 過去1年間に、通常、お子さんの世話をしている方に、次のようなことがあったときに、どのように対応しましたか。

図 -3-10 子どもの世話ができなかったときの対応（親の帰宅が遅くなり、夜間子どもだけになった） - 前回調査との比較



(2) 子どもの世ができなかったときの対応（泊りがけの用事）〔複数回答〕 - 前回調査との比較
 過去1年間に、通常、子どもの世話をしている方に、泊りがけの用事で親が子どもの世話を
 できなかったときの対応を聞いたところ、「別居の親族に頼んだ」の割合が17.6%と最も高く、
 次いで「他の家族に頼んだ」の15.8%となっている。
 また、「そのようなことはなかった」も66.1%であった。(図 -3-11)

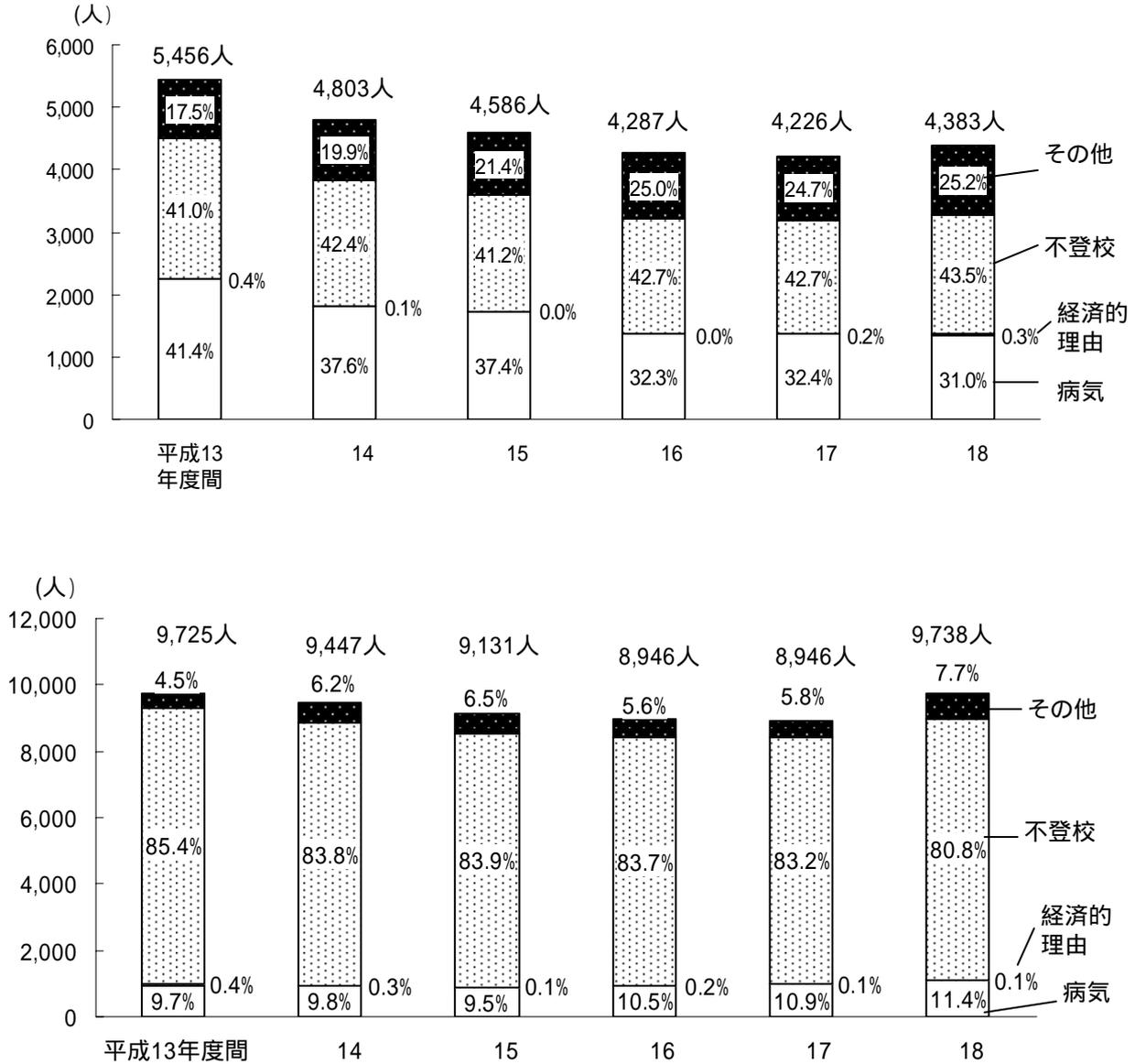
図 -3-11 子どもの世ができなかったときの対応（泊りがけの用事で親が子どもの世を
 できなかった） - 前回調査との比較



参考「長期欠席者（小学生、中学生）の推移」

小学生の年間50日以上長期欠席者は、平成18年度では4,383人と前年度よりも157人増加した。構成比をみると「不登校」が43.5%で、ここ6年間の間では最も高い。
また、中学生の長期欠席者は9,738人と、ここ6年間では最も多くなっている。（図参考7）

図 参考7 長期欠席者（小学生、中学生）の推移



資料：学校基本調査報告（文部科学省）